



平和首長会議ニュース

2023年7月 / 第163号

平和首長会議加盟都市数

166 各国・地域 **8,265** 自治体

加盟都市数 10,000 都市を目指しています！

日本国内加盟自治体数：1,738

(2023年7月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

🌐 ウェブサイト:

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

🐦 ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>


- ◆ 「子どもたちによる”平和なまち”絵画コンテスト」入賞作品のHPでのデータ提供を開始しました
- ◆ 第11回国内加盟都市会議総会への出席申込を受付中です
- ◆ 加盟都市の活動紹介
- ◆ 平和首長会議加盟自治体数: 166各国・地域 8,265自治体
- ◆ 平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆ 被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ 平和教育の取組事例を募集しています
- ◆ ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆ 長崎大学核兵器廃絶研究センターから: 2023年版「世界の核弾頭データ」ポスター解説①
- ◆ 広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

=====
■「子どもたちによる”平和なまち”絵画コンテスト」入賞作品のHPでのデータ提供を開始しました
=====

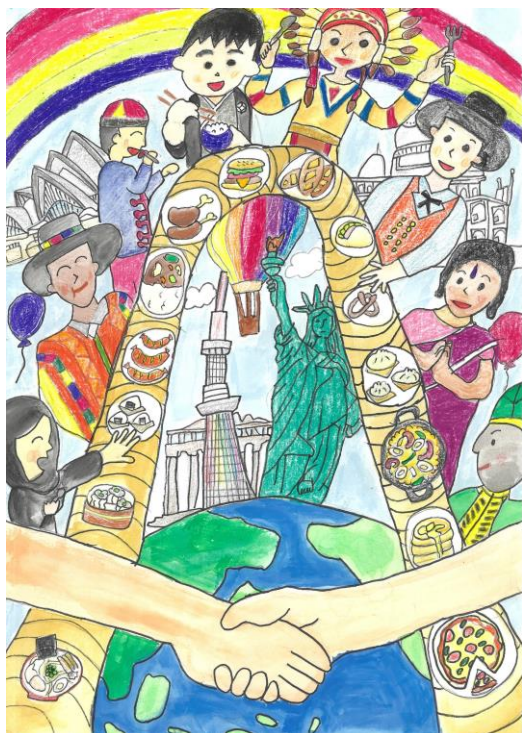
平和首長会議では、加盟都市における平和教育の更なる充実を図るため、全加盟都市の子どもたちを対象に平和をテーマにした絵画コンテストを毎年実施しています。

この度、新たに、過去の入賞作品の画像データをダウンロードしていただけるページを作成しましたので、公共施設等における展示会の開催や各種イベント内での展示をご検討ください。希望される加盟都市の皆様には、ダウンロードに必要なユーザIDとパスワードをお伝えいたしますので、事務局までご連絡ください。

▼連絡先: Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

 こちらからコンテスト入賞作品のダウンロードができます。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/art/drawings-data/>



(左)2022年度平和首長会議会長賞受賞作品
作者:愛知県大府市 兼松玖河さん(10歳)


(右上)2021年度平和首長会議会長賞受賞作品
作者:広島県広島市 山田初花さん(14歳)

(右下)2021年度平和首長会議会長賞受賞作品
作者:イラン バンダル・アッパース市
ネガル・ゲイビさん(8歳)



また、引き続き、今年度の“平和なまち”絵画コンテスト2023の作品を募集しています。

- 募集部門: ①「6歳～10歳の部」 ②「11歳～15歳の部」
- 応募点数: 1都市につき各部門最大5作品まで
- 提出期限: 10月31日(火) 17時
- 作品提出・問い合わせ先: (Email) mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

 絵画コンテストの詳細については、平和首長会議ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/art/>

=====
■第11回国内加盟都市会議総会への出席申込を受付中です
=====

国内1,738の加盟都市の首長で構成する「平和首長会議国内加盟都市会議」では、平和首長会議の国内における取組の充実を図るため、毎年一回総会を開催し、取組についての協議・意見交換、加盟都市の取組についての情報交換等を行うこととしています。

今年度は、メールでご案内したとおり、令和5年10月18日(水)、19日(木)に、兵庫県姫路市において、第11回平和首長会議国内加盟都市会議総会を開催いたします。

については、総会、意見交換会及び行政視察への出席、参加都市による平和活動の取組事例報告及び加盟都市情報コーナーでの展示・配架希望の有無について、メールに添付した「出席等連絡票」により、8月4日(金)までにご回答くださいますようお願いいたします。

皆様のご出席を心よりお待ち申し上げます。

日程: 令和5年10月18日(水)、19日(木)
会場: (1) 総会会場: アクリエひめじ
(姫路市文化コンベンションセンター)
(2) 意見交換会会場: ホテルモンテ姫路

過去の議事資料や出席者名簿は平和首長会議ウェブサイトに掲載しています。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/history/jp-meeting/>



姫路城(兵庫県姫路市)

=====
■加盟都市の活動紹介
=====

● 東京都江東区 東京都江東区が平和首長会議原爆ポスター展を開催

東京都江東区では、令和5年3月1日から14日の間、平和首長会議原爆ポスター展を行いました。区役所庁舎内と江東図書館で展示が行われ、より多くの方に原爆のもたらした被害をはじめ、戦争についてより深く学び、平和の尊さを理解していただけたことと思います。



写真提供: 江東区

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの[「加盟都市の活動」コーナー](#)でご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

是非、短文のご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 166か国・地域 8,265自治体
 =====

2023年7月1日付で、6自治体が加盟し、加盟自治体数は8,265都市となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟都市名	加盟都市数	備考
ドイツ	テニスフォルスト	855	副会長都市及びリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
パキスタン	トゥルバット	14	
ポルトガル	ソウレ	47	理事都市及びリーダー都市であるエヴォラ市の呼び掛けにより加盟。
米国	セーラム(OR)等2都市	225	退役軍人らによる平和団体であるベテランズ・フォー・ピース等の呼び掛けにより加盟。
ベトナム	バクニン(省)	7	

5か国から6都市が加盟

	ドイツ	1都市
	パキスタン	1都市
	ポルトガル	1都市
	米国	2都市
	ベトナム	1都市

 **加盟都市数**



166

か国
地域

8,265

都市

2023年7月1日現在

加盟都市数 **10,000都市** を目指しています！ 

平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！

 7月1日付新規加盟自治体一覧(PDF):
https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2023/file-2306-newmembers2307_jp.pdf

 加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF):
https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07_membership_by_country_jp.pdf

=====
■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

2021年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年－2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年－2025年)」(PDF):
https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX_Vision_Action_Plan.jp.pdf

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/>



=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の苗木の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

今年度においても、すでに多くの加盟都市から配付の申請をいただいております。ありがとうございます。引き続き申請を受け付けておりますので、是非ご検討いただければ幸いです。この事業は、通年でを行っているため特に申請期限はありません。




また、被爆樹木二世の苗木を活用した取組(植樹式や啓発活動を行ったり、平和教育の教材として活用した例など)がありましたら、是非事務局にご報告ください。このメールマガジンや、平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp
▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

=====
■平和教育の取組事例を募集しています

平和首長会議事務局では、加盟都市での取組の活性化につなげていくために、各加盟都市において実施されている平和教育の取組事例を収集し、「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

 平和教育の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/edu-example/>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。頂いた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース(連載第105回)

[中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

もうすぐ広島は、米軍による原爆投下から78年の「原爆の日」を迎えます。国内外からの観光客はもちろん、各国の大使や政府関係者らが平和記念式典に出席します。焦土と化した街は、かつてどんな姿だったのか。「あの日」からどう立ち直っていったのか。復興の過程でどんな困難があったのか。思いを巡らせ、犠牲者に黙とうをささげてもらいたい。それが、私たちの共通の思いではないでしょうか。

今、広島市西区の泉美術館で特別展「広島の記憶」が開かれています。戦前の街並みを捉えた絵画や、原爆投下直後の海外の新聞記事、惨状を伝える戦後発行の写真集など、「戦前」と「戦後」のヒロシマを物語る国内外の資料約320点を展示しています。

土門拳(1909～90年)は、原爆の爪痕がその身に刻まれた人間の姿を撮り続けました。取材ノートの複製の一部も紹介。「広島に行って、驚いた。(中略)歯ざしりしたいような憤怒を感じた」「撮影のすべてに国際的視点を保つこと」。走り書きに、写真家としての覚悟がにじみます。

被爆の実情を「知らされなさすぎた」。この土門の生前の言葉が、特別展に込められたテーマだといいます。報道や言論が統制され、原爆の惨禍を被爆地から発信することがままならなかった戦後占領期の日米の雑誌などの、さまざまな資料も展示しています。「知らされなさすぎた」は、現在の世界における重い課題でもあります。展示は8月27日まで。月曜休館(7月17日は開館)です。

関連記事は次のアドレスで読むことができます。

守り伝えた ヒロシマの記憶 泉美術館できょうから特別展 土門拳の写真やメディアの資料

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=133652>

[ヒロシマの空白] 供養塔遺骨 1002人目返還 2年ぶり 名簿見た遺族から連絡

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=133567>

被爆の惨禍 ありありと 廿日市の西岡さん 体験記出版「恐ろしさ知って」

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=133611>

「核抑止でなく廃絶を」日本被団協定期総会 特別決議を採択

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=133752>

被爆者 平均85歳超え 厚労省まとめ 手帳所持11万3649人

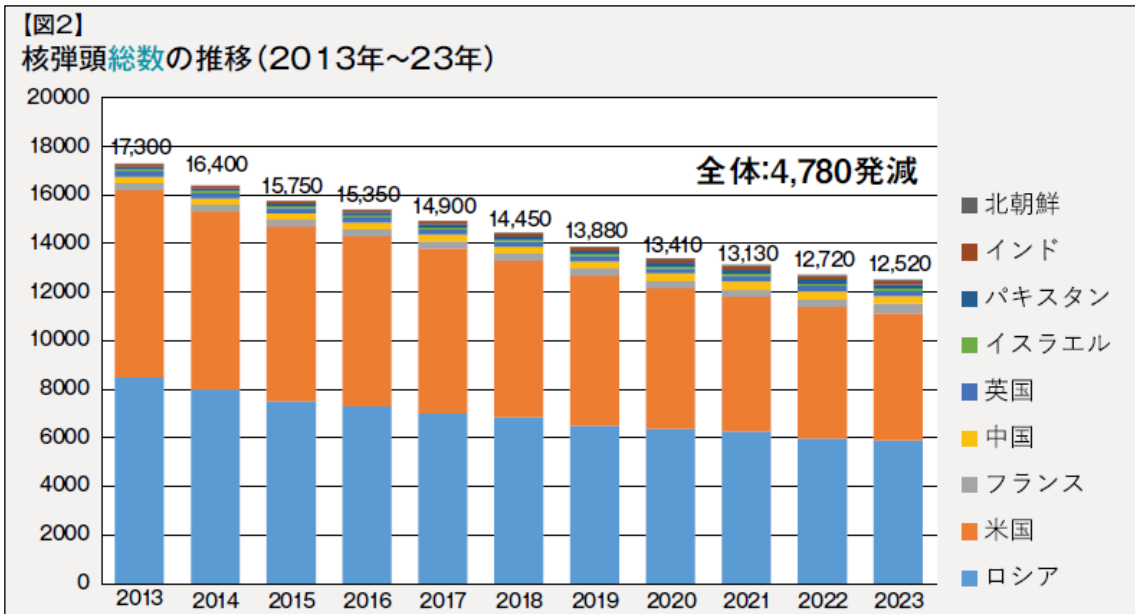
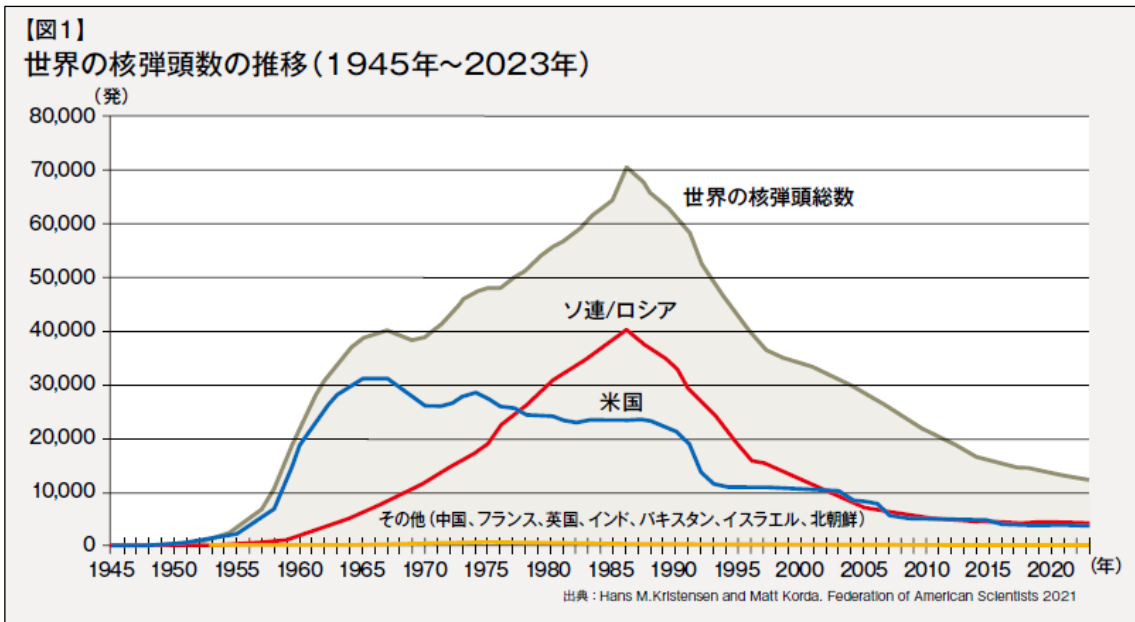
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=134168>

■長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2023年版「世界の核弾頭データ」ポスター解説①

前回紹介したように、2023年6月現在、9つの核保有国の核弾頭数は合計で12,520発と推定されます。国別では、米国(5,244発)、ロシア(5,890発)、中国(410発)、フランス(290発)、英国(225発)、インド(164発)、パキスタン(170発)、イスラエル(90発)、北朝鮮(40発)です。9か国のうち、米国、ロシア、中国、フランス、英国の5か国は、核不拡散条約(NPT)上で「核兵器国」と定義されています。インド、パキスタン、イスラエルの3か国はNPTの枠外で核保有を続けています。北朝鮮は2003年にNPT脱退を宣言し核保有に進みました。

2023年5月に被爆地広島で開催されたG7サミットが発した、核軍縮に焦点化した初の文書「広島ビジョン」は、「世界の核兵器数の全体的な減少は継続しなければならず、逆行させてはならない」と述べました。確かに、核弾頭の総数は冷戦後一貫して減少傾向にあります。ピーク時(1987年)には7万発近くが存在した核弾頭は、米ロの二国間条約や一方的削減などによって大幅にその数を減らしました【図1】。このポスターが登場した2013年から10年間の推移を見ても、核弾頭総数では4,800発近くが削減されています【図2】。

しかし、実質的な核軍拡は進んでいるのです。次号以降で詳しく説明します。(次号に続く)




画像提供:長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)

2023年版「世界の核弾頭データ」ポスター(長崎大学核兵器廃絶研究センターウェブサイト):
<https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/topics/43620>

=====
■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について
=====

核兵器禁止条約は2021年1月22日に発効し、現在68か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙
<https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-syomei.pdf>

このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5
(公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/newsflash>

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉  @Mayors4Peace
<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉  @mayorsforpeace
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！